

# 大湾区情報 No. 34

グレーターベイエリア情報 発行：2022年4月26日



## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【中国各地で新エネルギー自動車産業の2025年目標を策定 肇慶は如何に他との差別化を図るか】](#)

[【「トレンド」経済を支える新たな消費モデル 深圳、1兆人民元規模の消費センター都市構築へ】](#)

[【深圳、上場企業の深圳への移転を奨励、奨励金最大500万人民元】](#)

[【関連記事】2022/23年度香港財政予算案及び今後の見通し（青葉ホームページ）](#)

**【中国各地で新エネルギー自動車産業の2025年目標を策定 肇慶は如何に他との差別化を図るか】**



3月23日、小鹏汽車（XPENG Motors）の電気自動車、小鹏P7の10万台目が肇慶工場にて完成しました。寧徳時代（CATL）の肇慶基地は今年6月に生産を開

---

始する予定で、2022年には、この2大主要大手企業が引き続き肇慶新エネルギー自動車産業をリードし、同産業の発展をけん引していくことになるでしょう。

カーボンピークとカーボンニュートラルの観点から、新エネルギー自動車はかつてない発展のチャンスを迎えており、中国全国各地で開発計画が発表され、産業支援の充実、生産と保有量などの目標設定、2025年までに産業発展の新たなブレイクスルーを達成することを目指しています。

業界関係者によると、新エネルギー自動車産業の発展において既に先手を打った肇慶は、広東省が与えた目標を達成するために、激しい新エネルギー自動車業界における競争で他と差をつけるために、新しいインフラのエコロジー、科学技術の研究開発で欠点を補い、都市開発の最初のチャンスを勝ち取る必要があるとされています。

現在、肇慶は小鹏汽車と寧徳時代をトップに、理士電源（LEOCH）、鴻図科技（Guangdong Hongtu Technology）、合普動力（HEPU POWER）、嘉利車灯などのニッチ分野のリード企業を重点支援企業として産業クラスターを形成し、新エネルギー自動車産業は急速な発展を遂げています。

新エネルギースマート自動車産業の継続的な発展を踏まえ、2021年、科学技術部は大旺インテリジェント・コネクテッド新エネルギー自動車産業を革新的産業クラスターに、工業情報化部は肇慶ハイテク区を工業インターネット統合応用イノベーション園区に、広東省は肇慶ハイテク区を特別産業園に認定しました。

2021年時点で肇慶市の新エネルギー自動車と自動車部品産業の企業は72社と、2020年末より7社増加し、工業総生産額は443.1億人民元を達成し、2020年と比較し48.12%増加しました。また、市の一定規模以上企業の工業総生産額の10.5%を占め、2020年末より1.2%上昇しました。前年比48.12%増の成長率は一定規模以上企業の工業総生産額の成長率を18.6ポイント上回り、市の総産業生産額を4,200億人民元以上に押し上げる原動力となりました。

---

## レースで優勝を目指す 各地で 2025 年産業目標設定

中国全体でカーボンニュートラル・カーボンピークが積極的に推進されており、肇慶だけでなく、北京、上海、長春、江蘇省、浙江省など中国全国各地で新エネルギー自動車の発展競争が繰り広げられています。

広東省は国内最大の「自動車省」であり、新エネルギー自動車産業の発展も当然ながら遅れをとっていません。「広東省製造業高品質発展第 14 次 5 年計画」では、自動車と新エネルギーが戦略的支柱産業トップ 10 及び戦略的新興産業トップ 10 に含まれており、広州、深圳、珠海、仏山、肇慶、東莞、惠州、湛江、茂名、汕尾、雲浮などの都市を新エネルギー自動車開発の拠点としています。

2021 年、中国における新エネルギー自動車関連企業は 47 万 9,000 社、そのうち広東省企業が 63,000 社で全体の 13.34% を占めており、トップとなっています。都市別に見ると、深圳が 24,000 社で全国 1 位、広州が 18,000 社で全国 2 位となっています。

## トップを争う 肇慶は将来の産業発展のため戦略的優位をつかむ

肇慶は、広東省はもちろん、中国全体においても新エネルギー自動車製造と蓄電池プロジェクトの両方を有する数少ない都市の一つであり、相乗効果によるハイペースな発展を実現することができます。

2021 年、南都スマート自動車産業生態研究課題チームは「広東省スマート自動車産業吸引力報告書（2021 年）」（以下「報告書」）を公布、そして「広東省スマート自動車産業都市ヒートマップ」を発表し、肇慶が最大のダークホースとなり、広東省のスマート自動車産業の発展を最も強力で推進する都市となりました。

---

報告書では、肇慶は広州、深圳と並んで第一線に位置づけられていますが、広州、深圳と比較すると自動車における絶対生産額ではまだ差があることが明確に示されています。

「広東省製造業高品質発展第 14 次 5 年計画」によると、肇慶は今後、バッテリー、電子制御、モーター、タイヤ、シャーシ、センサー、照明システムなどの自動車部品産業の発展を加速し、同時に大旺産業園や大湾区生態科学技術産業園などの媒介施設により新エネルギー自動車製造分野の発展を加速させます。

また、肇慶市は広東省内のパイロット・トライアル都市の一つとして、インテリジェント・コネクテッド・カー（Intelligent Connected Vehicle, ICV）の路上テストを推し進めるため、閉鎖型テストエリアと多数の半開放型および完全開放型テストエリアの建設を計画予定です。

第 14 次 5 年計画に向け、「新エネルギー自動車と自動車部品産業の発展を促進する肇慶行動計画（2021-2025）」において、新エネルギー自動車の完成、自動車コア部品チェーン強化、カーエレクトロニクスの拡張チェーン、自動車軽量化、充電設備のエンパワーメント、自動車のアフターマーケット品質、産業の核の強化、産業レイアウト最適化実施等八大プロセスを実行し、2025 年までに、肇慶の新エネルギー自動車部品企業は同完成車製造企業と並行して開発能力を備え、主要新エネルギー自動車コア部品の現地調達率を 40%超とすることを明確にしています。

計画によると、肇慶小鵬インテリジェント・コネクテッド科学技術産業園では、年間 20 万台の新エネルギー自動車を生産し、将来的には年間生産額 300 億人民元以上を達成できる予定です。寧徳時代肇慶プロジェクトでは、計画生産能力が 25Gwh で、到達時には年間生産額約 200 億人民元を達成する見込みです。この 2 つの有力企業だけでも、将来的に 500 億人民元を超える生産額に貢献することが可能です。

---

2025年までに、肇慶は自動車完成車製造、自動車コア部品、カーエレクトロニクス、充電設備などの分野で国内外のトップ100企業の8-10社を継続して誘致し、生産額100億人民元の企業2社以上、10億人民元の企業20社、1億人民元の企業50社を誘致・育成し、当分野での10社の業種別トップ企業、「小巨人」企業、「ユニコーン」企業、「ガゼル」企業が育成できるよう力を注ぎます。また、省レベル以上の製造業のイノベーションセンター、エンジニアリング技術研究センター、重点実験室を計15ヶ所、そしてハイテク企業100社を新たに追加することを目標としています。

肇慶市の関係者によると、インテリジェント・コネクテッド・カーは将来の産業発展の戦略的重要ポイントであり、今後、肇慶市はインテリジェント・コネクテッド・新エネルギー自動車産業チェーンの拡張を加速し、自動車電子産業の新たなハブとインテリジェント・コネクテッド人材集積地を構築するために全力をあげ、完成車、インテリジェント・コネクテッド部品、システムソフトウェアの分野で、市場関係者が密に協力する産業エコロジーを構築していく、と述べています。

---

## 【「トレンド」経済を支える新たな消費モデル 深圳、1兆人民元規模の消費センター都市構築へ】



深圳では、新しく、ニッチな現代アートプリントに人気が集まり、1,000人民元台のキャラクターグッズは、発売と同時に完売となります。セレクトショップやトイショップに足を運んでみれば、目に入るのは商品ではなく、様々な体験シーンです。市内全域にわたる主要ショッピングエリア、ブランドショップやレストランだけでなく、「スモールタウンモデル」やSNS映えスポットもますます増えています。オンライン消費が本格化、深圳オフラインマーケットも「ブルーオーシャン（競争相手のいない未開拓の市場）」状態です。様々な新しいビジネス、新しいモデルが静かに生まれ、オンラインビジネスの親密な交流が行われ、共にトレンド経済を盛り上げています。

今年、深圳市人民代表大会および政治協商会議で発表された「政府工作報告」では、新消費モードや新モデルを育て、流行消費、体験消費などを発展させ、ショッピングエリア経済を積極的に強化し、年間の消費財小売総額が1兆人民元を超えるよう努力することが記載されています。深圳は、中国で5番目の1兆人

---

民元消費都市になると予想されています。

## オンラインーオフラインの連携で「トレンド玩具」産業チェーンをつなぐ

最近、深圳の街角では、知財キャラクター派生グッズを販売する実店舗が増えており、「体験+IP+トレンド」という新しいビジネスモデルが若者の間で人気を博しています。

南山区の歡樂海岸にある QQfamily の旗艦店は、深圳市創夢天地科技有限公司 (idreamsky) のゲーム事業から派生したオフラインの実店舗で、QQ シリーズ、PUPU ALIENS シリーズ、「パンダの穴」など、世界的に有名な知財ライセンス商品など、トレンド玩具の商品を多数販売しています。また、従来のトレンドショップとは異なるのは、店内に消費者向けのチェックイン&フォトスポットのある体験コーナー、国際的に人気の高い、市場に出回ることが少ない様々なトレンド商品の展示コーナーも設置されています。今年 2 月末までに累計 60 万人の入場者数を超え、歡樂海岸ショッピングエリアでトップとなり、休日のピーク時には 1 日の最高来客数が 14,000 人に達しました。

オフラインの知財キャラクター派生グッズとオンラインゲームの連携は、オンラインとオフラインのトレンド経済産業チェーンを後押ししています。オンラインビジネスで生まれた巨大なファン層を、オフラインの実店舗での体験・消費を通じて知財派生ビジネスを推進すると同時に、オフラインの実店舗での知財製品をオンラインゲームビジネスに組み込むことで、新たな価値を生み出すことができます。

現在、深圳のインターネット科技企业と文化創意企業は、オフラインとオンラインのトレンド玩具展示会や活動を開催し、世界的に有名な知財メーカーと積極的にコラボするなど、より豊かな産業チェーン資源を結び付けています。オフラインの実店舗の中では、すでにオフライン実店舗総収入の 50%以上もトレン

---

ド玩具製品が占めているところがあり、その比率はまだまだ上昇の傾向が続いています。

## オフラインでの集客が消費の新たなモデルを創造

デジタル経済の急速な発展に伴い、オンラインでの消費がますます盛んになっています。オフラインでは、ショッピングはもはや消費者の主な目的ではなく、リラクセス、学習、社交が新たなニーズとなっています。深圳の企業は、より多様化し、より消費者のニーズに適応した体験シーンを次から次へと開発し、さらに多くの市民を呼び込み、消費を促しています。

ファーウェイは、深圳のオフライン小売市場に早くから参入しています。2年以上前、ファーウェイは深圳に世界初のハイエンド体験型インタラクティブストアをオープンし、瞬く間に市内のショッピングエリアで人気を博しました。ファーウェイはその後、「卓悦中心智能生活館」と「歓楽港湾授權体験店 Plus」をさらにオープンし、この3つの実店舗ではいずれも十分な公共スペースを確保しており、レジャー、エンターテインメント、学習の没入型体験空間を提供しています。ストアでセミナーを受講したり、友人とアフタヌーンティーを楽しんだり、体験型のVRゲームを無料で利用したりできます。

ファーウェイの担当者は、実店舗でのインタラクティブな体験を通じて「コミュニティ」を作り、オンラインの「ファン」層と同様のオフラインの顧客層を形成し、双方からビジネスバリューを獲得していくと述べました。ファーウェイの万象天地店は、主に20~40代の若者が訪れ、1日の最大来店者数はのべ2万人、年間平均約100万人、累計5億人以上の消費者に達しています。ファーウェイ・アカデミーのコースだけでも、当店舗で6,000課以上開講しており、3万人以上が参加しています。

この2年間、深圳では、ますます多くの体験要素がオフラインで出現しており、ナイキ、ルルレモン、レゴなどのブランドチェーン店でも、深業上城、万像

---

天地、歡樂海岸などの優良ショッピングエリアでも、「体験＋小売」という新しいモデルがほぼ標準となり、消費を押し上げる重要な力となって経済成長に常に新しい勢いを与えています。

龍華、龍崗、大鵬などの区（新区）では、それぞれの有利な産業を利用して体験式消費の特色ある産業タウンを次々と打ち出し、深圳とその周辺の顧客を引きつけ、有名な SNS 映えスポットとなり、地域消費を押し上げただけでなく、産業の発展にもつながっています。

業界関係者によると、従来の伝統的な小売モデルのように、棚を積み上げて消費者が買いに来るのを待つだけでは、もはやビジネスとして成り立たなくなっており、企業、店舗が考えるべきことは、若者が何を好み、どんな新しいトレンドグッズがあるのかを常に研究し、豊かで興味深い体験シーンによって消費者を動かし、「体験してから消費」すること、そして新しい消費モデルによってビジネスや実体経済の発展を常に促進することであると述べています。

## 【深圳、上場企業の深圳への移転を奨励、奨励金最大 500 万人民元】



深圳は最近、イノベーション企業の発展を促す文書を数多く発表しており、4月8日には「深圳市人民政府による強力な市場主体の育成加速に関する実施意見」を公布、深圳の上場企業やユニコーン企業の増加に期待するとともに、国内上場した深圳企業に対し最大 100 万人民元、海外上場企業の再編や深圳へ拠点を移転する外地優良海外上場企業に対して最大 500 万人民元の奨励金を支給することを提案しています。

同意見によると、深圳市は「新三板」（全国中小企業株式譲渡システム/NEEQ）に初めて上場する企業に対して最大 50 万人民元の奨励金を支給し、さらにイノベーション層に入る企業に対してさらに最大 30 万人民元の奨励金を支給する予定です。中国外市場で直接上場する企業には、最大 80 万人民元の奨励金が支給される予定です。

---

## 深圳企業 10～12 社の「世界トップ 500」入りを目指

深圳の企業総数は急速に増加しており、年平均 50 万社以上の新規企業が新たに設立され、2025 年には、市内の企業総数が 460 万社、そのうち各種法人企業の総数は 320 万社を超え、法人企業と個人経営者の比率は 7 : 3 に達すると予想しています。

同時に、深圳の一定規模以上の工業企業の総数 15,000 社超、国家専精特新「小巨人」企業数 600 社超、全国の製造業別トップ企業数が 80 社以上、国内外の上場企業数が 600 社超、世界トップ 500 企業数が 10～12 社へ増加、国家レベルのハイテク企業数が 22,000 社に達し、ユニコーン企業が約 20 社となることを目標としています。

### 【参考資料】

- ・ [中国各地で新エネルギー自動車産業の 2025 年目標を策定 肇慶は如何に他との差別化を図るか](#)
- ・ [「トレンド」経済を支える新たな消費モデル 深圳、1 兆人民元規模の消費センター都市構築へ](#)
- ・ [深圳、上場企業の深圳への移転を奨励、奨励金最大 500 万人民元（HKET 2022 年 4 月 8 日）](#)